

ごあいさつ



会員・組合員・ご利用者の皆様には、日頃より東北労働金庫に対し、ご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2017年度は、第5期中期経営計画（2015年度～2017年度）の最終年度であり、役職員一丸となり経営改善策を柱に“運動性・収益性・事業性の調和・均衡ある発展により、会員と共に創る新たなステージへ”をスローガンに取り組みを進めてまいりました。

業容においては、預金は特別金利定期預金・季節キャンペーンを中心とした取り組みの結果、目標を達成しております。貸出金は増加目標には届きませんでしたが、「量から質への転換」をめざす取り組みにより前年実績を102億円上回り、特に無担保融資については8年ぶりに期首から増加に転じることができました。これもひとえに、皆様が当金庫をご支持・ご利用くださった賜物であり、厚く御礼申し上げます。

また、2014年6月の第11回通常総会でご確認いただいた経営改善策においては、7店舗を再編成・統合いたしました。2018年度以降につきましても、会員・地域コミュニティを大切に、

皆様のご理解をいただきながら、サービスの維持・向上に努めてまいります。

現在、国内経済は緩やかな回復基調が続いておりますが、勤労者の実質賃金は伸び悩み、非正規勤労者が増加する等、雇用不安・格差拡大は社会的課題となっております。このように社会・経済・金融の環境が大変革を迎えている状況において、当金庫は情勢の変化を的確に把握し、その変化に機敏に対応する経営判断と各施策の実効性を進めてまいる所存です。

2018年度からスタートする新たな第6期中期経営計画（2018年度～2020年度）は、まさにその一歩となります。「深める」「広める」「高める」の<3つの取り組み>の実践により、皆様のニーズに応え、付加価値の高いサービスをご提供することをめざし、「お客さま本位の業務運営」を展開し、「持続可能なビジネスモデル」を構築してまいります。そして、コーポレートガバナンスを強化した新たな金融機能の発揮をめざし、役職員一同、皆様と一体となった取り組みを進めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2018年3月期ディスクロージャー誌の作成にあたっては“人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する”と定めたろうきんの理念に基づく社会貢献活動について、別冊としてリニューアルいたしました。当金庫の事業内容・業績・今後の取り組みを掲載した本冊と合わせ、ご一読いただければ幸いに存じます。

2018年7月

理事長 影山 道幸